

# 「胃癌組織中の Podoplanin と血小板の共発現の意義」

## 研究実施のお知らせ

### 1. 研究の対象となる方

2011年1月1日から2014年12月31日に当院第一外科で胃癌と診断され、胃切除を受けた方

### 2. 研究期間

研究機関の長の許可日 ~ 2026年3月31日

### 3. 試料・情報の利用及び提供を開始する予定日

利用開始予定日：2024年1月1日

### 4. 研究の目的

胃癌において間質に存在する癌関連繊維芽細胞（CAF）は癌の進展に大きく影響しています。以前の研究でCAFに発現しているPodoplanin（PDPN）というタンパク質の発現が胃癌の予後に影響していることがわかりました。血小板も癌の進行に強く影響していることがわかっており、PDPNは血小板を活性化させるタンパクでもあります。本研究ではPDPNと血小板の相互作用を検証することを目的としています。それにより悪性度の高い胃癌を絞り込めると考えます。また相互作用をターゲットにした新たな治療法につながる可能性があります。

### 5. 研究の方法

手術時切除した検体の免疫組織化学染色でPDPNと血小板の共発現を評価し、病勢や予後を検証いたします。

### 6. 研究に用いる試料・情報の項目

〈利用する情報・項目〉

情報：診療録情報、検査データ、病理検査結果

試料：手術で摘出した組織、血液サンプル

なお、この研究に必要な臨床情報は、すべて診療録及び余剰検体より取り出しますので、改めて患者さんに行っていただくことはありません。

### 7. 外部への試料・情報の提供

該当なし

### 8. 研究組織（試料・情報を利用する者の範囲）

試料・情報の利用者は外科学講座第一教室の研究者のみです。

【研究責任者】

## 9. 試料・情報の管理について責任を有する者

国立大学法人山梨大学

## 10. 個人情報の取扱いについて

収集したデータは、誰のデータか分からないように加工した上で、統計的処理を行います。国が定めた倫理指針（「人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針」）に則って、個人情報を厳重に保護し、研究結果の発表に際しても、個人が特定されない形で行います。

## 11. 利益相反（企業との利害関係）について

この研究は、外科学講座第1教室の研究費を用いて実施します。この研究のために、企業等からの資金提供はありません。したがって、この研究の計画、実施、発表に関して可能性のある利益相反は存在しません。また、研究責任者及び分担研究者は、利益相反について本学医学研究利益相反審査委員会に申告し、適切な実施体制であることの審査を受けております。

## 12. お問い合わせ等について

この研究へのご協力は、患者さんご自身の自由意思に基づくものです。この研究への情報提供を希望されないことをお申し出いただいた場合、その患者さんの情報は利用しないようにいたします。ただし、お申し出いただいた時に、すでに研究結果が論文などで公表されていた場合には、完全に廃棄できないことがあります。情報の利用を希望されない場合、あるいは不明な点やご心配なことがございましたら、ご遠慮なく下記連絡先まで、メール又はFAXにてご連絡ください。この研究への情報提供を希望されない場合でも、診療上何ら支障はなく、不利益を被ることはありません。

また、患者さんや代理人の方のご希望により、この研究に参加してくださった方々の個人情報および知的財産の保護や、この研究の独創性の確保に支障がない範囲で、この研究の計画書や研究の方法に関する資料をご覧いただくことや文書でお渡しすることができます。希望される方は、以下までメール又はFAXにてご連絡ください。

<照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先>

山梨大学医学部外科学講座第1教室 臨床助教 滝口光一

〒409-3898

山梨県中央市下河東 1110

山梨大学医学部 外科学講座第1教室

メール；ktakiguchi@yamanashi.ac.jp

FAX：055-273-7390